

【平面図形】 三角形の相似条件 | 3つの条件

これだけは覚えよう！重要ポイント

条件①

3組の辺の比がすべて等しい

条件②

2組の辺の比とその間の角が等しい

条件③

2組の角がそれぞれ等しい

Q. 三角形の相似条件は？ 合同と似ているが、「等しい」が「比が等しい」に変わるのがポイント。

① 3組の辺の比

条件

3組の辺の比がすべて等しければ相似（SSS相似）。

$$AB : DE = BC : EF = CA : FD$$

② 2組の辺の比と間の角

条件

2組の辺の比とその間の角が等しければ相似（SAS相似）。

$$AB : DE = BC : EF, \angle B = \angle E$$

③ 2組の角

条件

2組の角がそれぞれ等しければ相似（AA相似）。これが最頻出！

$$\angle A = \angle D, \angle B = \angle E$$

④ 合同条件との比較

比較

合同は「等しい」、相似は「比が等しい」。③だけは全く同じ。

AA相似が最も使いやすい

💡 ミス回避のコツ

⚠ 比の順番を間違える

✖

$$AB : EF = BC : DE$$

○

$$AB : DE = BC : EF \text{ (対応順)}$$

対応する頂点の順番に注意。記号の順に対応させる。

⚠ AA相似で3角を確認

✖

3つの角を全部確認

○

2つの角で十分（残り1つは自動決定）

三角形の内角の和は180°なので2角でOK。

最終確認チェックリスト

- 三角形の相似条件を3つ言えるか？
- AA相似が最も使いやすいことを理解したか？
- 合同条件との違いを説明できるか？

